

ジェイアールバス東北本部 第36回定期委員会



7月13日、ジェイアールバス東北本部は、仙台地方本部会議室において「第36回定期委員会」を開催しました。「新生JR東労組運動宣言」と「バス東北本部緊急提言」を基軸としたたかひを職場からつくり出し、働きがいと魅力ある職場づくり、組合員・家族の生活を守るため、全組合員が一丸

となりの「総合労働条件改善」をめざして取り組む運動方針を満場一致で確認しました。

冒頭、主催者を代表してバス東北本部佐藤議長から、昨年の定期委員会以降のたたかいについて述べられ、「23春闘」「夏季手当」のたたかいは、組合員一人ひとりが声を上げ、あきらめることなく職場から訴え続けた成果であると語られました。

質疑では、各分会代表者から一年間の職場からのたたかいについて報告があり、人材流出を防ぐために受託事業所の手当の増額や休日増など更なる待遇改善を求める声や、各職場で発生している問題など、様々な課題も浮き彫りになりました。

そして、23春闘や夏季手当のたたかいでの成果と課題を明確にし、昨年の2月に申し入れを行った総合労働条件改善の実現と、職場で発生している諸課題解決を通じて、組織強化・拡大へと繋げていくことを参加者全員で確認しました。

最後に、団結を更に強化すべく、佐藤議長の団結カンパニーで締めくくられ、成功裏に終了しました。

これからバス東北本部は、支部・地本・ジェイアールバス関東本部などあらゆるJR東労組の仲間と連携していきます。

7月3日、ジェイアールバス関東本部は中央本部会議室において、「第37回定期委員会」を開催し、40名が結集しました。

定期委員会では、「55歳以上社員の減額制度は一步前進があったものの引き続き見直し・改善が必要」「今後実施していくIT点呼が異常時に対応できるのか」「各現場は要員不足の状態で臨時便がだせるのか」「車両課を廃止して安全な運行ができないのではなか」「等の要員問題を背景とした、安全や施策に対する声が多く出されました。また、5職場でJR東労組の代表者を擁立することができた過半数代表者選挙のたたかひの成果・教訓が発表されました。

バス関東本部は、定期委員会で出された声を基に申し入れを提出し、今後団体交渉で議論していきます。

2024年4月からバス運転者の改善基準が改正されます。「安全・健康・ゆとり」「利便性の維持・向上」を価値基準にし、改正のポイントを踏まえてバス運転者が働きやすく、風通しの良い職場をめざして各現場で議論していく決意と向こう一年間のあらゆる危機を突破するための2023年度運動方針案が満場一致で確認されました。

2023年度役員体制(敬称略・三役のみ)

議長	佐藤 秀一	白沢
副議長	沼崎 直人	盛岡
事務長	高橋 賢一	福島

ジェイアールバス関東本部 第37回定期委員会

7月3日、ジェイアールバス関東本部は中央本部会議室において、「第37回定期委員会」を開催し、40名が結集しました。

定期委員会では、「55歳以上社員の減額制度は一步前進があったものの引き続き見直し・改善が必要」「今後実施していくIT点呼が異常時に対応できるのか」「各現場は要員不足の状態で臨時便がだせるのか」「車両課を廃止して安全な運行ができないのではなか」「等の要員問題を背景とした、安全や施策に対する声が多く出されました。また、5職場でJR東労組の代表者を擁立することができた過半数代表者選挙のたたかひの成果・教訓が発表されました。

バス関東本部は、定期委員会で出された声を基に申し入れを提出し、今後団体交渉で議論していきます。

2024年4月からバス運転者の改善基準が改正されます。「安全・健康・ゆとり」「利便性の維持・向上」を価値基準にし、改正のポイントを踏まえてバス運転者が働きやすく、風通しの良い職場をめざして各現場で議論していく決意と向こう一年間のあらゆる危機を突破するための2023年度運動方針案が満場一致で確認されました。

2023年度役員体制(敬称略・三役のみ)

議長	井上 一宏	東京
副議長	押元 匡史	東京
事務長	三瓶 嘉則	千葉



写真部 第28回総会・撮影会

6月25日、26日、写真部第28回総会・撮影会を長野県にて開催しました。

第28回総会では、本部・久能情宣担当部長から来賓あいさつで、組合員が未加入の仲間と共に沿線の利用実態を調査し、車両の増結を勝ち取った事例などが紹介され、数字だけで地域の目線に立たない今のJR東日本会社のローカル線施策について問題提起がされました。

参加した組合員から、各地本の写真部の活動報告をはじめ、夏季手当のたたかひや豊田運輸区での人間破壊の強制転勤についての発言があり、参加したOBの先輩方からは「考えられない」「乗務途中に降ろしての事前通知は前代未聞だ」と、現在のJR東日本会社で起きている安全軽視とパワハラが横行している実態に驚きと怒りの声が上がりました。現役組合員と



OBの先輩方、そして各地本の仲間が集うサークルという場は、JR東労組の強化・拡大のために重要な役割を担っており、強く感じた総会となりました。

総会後に本部サークル協議会野中副議長から、豊田運輸区の事象について八王子地本のたたかひを報告いただき、参加者で檄を取り組みました。

2日目は坂城駅(しなの鉄道)に移動し、石油送列車と残り少ない115系、そして同駅に保存されている169系を撮影しました。ガイド役の坂城町の保存会の金子万丈さんはJR東労組長野地本OB会の方でもあり、サークル活動を通じたつながりを感じました。

長野県には、今回訪れた長野電鉄・しなの鉄道の他、上田電鉄・アルピコ交通といった地域に根ざした鉄道が多く、ローカル線問題と向き合う上で大いに学ぶ点があります。今回は行程の都合で訪問できなかった鉄道沿線の風景と、

6月25日、26日、会津柳津の地で文芸部第32回総会を開催し、11名が参加しました。昨年10月に全線で運転を再開した只見線に乗り、ローカル線問題を考えながら、自然を満喫してきました。

総会前には、地元出身の版画家・斎藤清美術館を訪れ、版画体験などをしました。そして、総会では本部・佐藤中央執行副委員長から豊田運輸区における人間破壊の強制転勤について提起を受けました。

2日目は柳津の町を観光。うぐい生息地や只見川の観光船、虚空蔵菩薩圓蔵寺などをめぐりながら、一句詠みました。文芸部の活動は冊子「EAST」や通信の発行、文学散歩や一泊での総会です。若い人からOBの方まで、気軽に参加してください！

文芸部 第32回総会

6月25日、26日、会津柳津の地で文芸部第32回総会を開催し、11名が参加しました。昨年10月に全線で運転を再開した只見線に乗り、ローカル線問題を考えながら、自然を満喫してきました。

総会前には、地元出身の版画家・斎藤清美術館を訪れ、版画体験などをしました。そして、総会では本部・佐藤中央執行副委員長から豊田運輸区における人間破壊の強制転勤について提起を受けました。

2日目は柳津の町を観光。うぐい生息地や只見川の観光船、虚空蔵菩薩圓蔵寺などをめぐりながら、一句詠みました。文芸部の活動は冊子「EAST」や通信の発行、文学散歩や一泊での総会です。若い人からOBの方まで、気軽に参加してください！

サークル 今後の予定

各大会の詳細(集合時間等)については、各地本へお問い合わせ下さい。みなさんの参加をお待ちしています！

第29回登山大会

開催日	9月3日(日)~4日(月)
開催場所	安達太良山
宿泊箇所	磐梯横向温泉 「森の旅亭 マウント磐梯」
参加費	16,000円
参加報告	一次集約8月4日(金) 最終集約8月27日(日)

第28回軟式野球大会

開催日	9月20日(水)~21日(木)
開催場所	雫石町鶯宿運動場 多目的グラウンド
宿泊箇所	つなぎ温泉 「湯守ホテル大観」
参加費	15,000円
参加報告	9月1日(金)

第32回釣り大会

開催日	9月28日(木)~29日(金)
開催場所	陸奥湾 青森マリーナより出港
宿泊箇所	東横INN新青森駅東口
参加費	21,000円
参加報告	一次集約8月1日(火) 最終集約9月1日(金)

